

押木 秀樹（上越教育大学）／ 書写教育、書字行為の分析的研究

1. キーワード

書写教育、教材論、内容論、持ち方、筆順、書字動作、字形、パラ言語

2. 研究活動概要

文字を書くという行為の中には、長い歴史の中で構築されてきた価値や文化があるはずですが。実用的な筆記の面ではすぐれた機能性や合理性に満ちているはずであり、芸術的な表現という面では感性に訴えかける素晴らしい美があり、そしてその中間的な部分にも簡単に説明しきれない価値があるはずですが。

私たちが学び、次世代に伝えていくべき「手書きすること」は、手書きできるという技能面に加え、そこに含まれる価値でもあると考えます。特に文字の使用が手書きのみでなく、情報機器を用いてできるようになった現代において、そのことは重要だと考えます。一方、手書きすることの学びには、勘や経験によっていて、十分に立証できていない部分がありました。私どもの研究室では、手書きする行為に含まれる機能性や文化等について客観的な態度で説明するとともに、現代に生きる私たちの書字行為を分析することで、現代の書字の実相を明らかにしていきたいと考えています。そのため、おおよそ次の①～⑤に分類できる課題を扱っています。

① 書字行為・手書き文字研究の方法論

手書き文字や書字行為を研究するにはどのような研究方法があり得るかを考え、その一例を明らかにしています。読みやすさ・書きやすさ・覚えやすさなどの視点の提示もおこなっています。以下に示す例の他、新しい領域を扱った研究論文の前半には、その方法論を示すようにしています。

【例】「手書き文字研究の基礎としての研究の視点と研究構造の例」（『書写書道教育研究』11号）

「汎用性と合理性という視点からみた書写教育の基礎についての試論」（ 〃 14号）

「書写書道教育の課題としての手の動き・身体・パラランゲージ」（HIP2006-87） など

② 書字におけるフォームに関する研究～筆記具の持ち方など～

書字行為において、疲労や痛みを少なくするために、筆記具の持ち方や姿勢が重要だと考えます。良いといわれる持ち方はなぜ良いのか、持ち方の実態はどうなっているのかなどを研究しています。

【例】「望ましい筆記具の持ち方とその合理性および検証方法について」（『書写書道教育研究』17号）

③ 書字動作に関する研究～筆順・動作の分析・行書の特徴～

良い字形のために、また気持ちよく字を書くために、動作はどうあるべきなのか、またその実態はどうであるのかを、筆順の分析・調査や書字動作の測定・分析などからおこなっています。また伝統的な行書の書き方に含まれる機能性を明らかにする研究などもしています。

【例】「常用漢字の構成要素とその筆順構造の分析」（『書写書道教育研究』32号）

「書字における文字間の空筆部に見られる動作の分析と考察」（ 〃 32号）

「書字等の動作における利き手の差に関する基礎的研究」（『上越教育大学国語研究』29号）

「書字における書きやすさの重要性と書字動作に関する基礎的研究」（ 〃 21号） など

④ 文字の形状に関する研究～字形や文字の大きさなど～

整った字形に共通する特徴や、伝統的に述べられてきた字座などの概念を、分析的に検討しています。また一般の人の字形に見られる特徴などについて研究しています。さらに楷書字形に見られる書きやすさの要素や、行書字形に見られる読みやすさの要素を、冗長性の概念などから説明しています。

【例】「左右の部分形からなる漢字の字形に関する研究」（『書写書道教育研究』10号）

「手書き漢字字形の多様性に関する研究」（ 〃 11号）

「枠内書字における漢字の大きさの統一感に関わる要素」（ 〃 20号）

「書字動作における読みやすさの維持と冗長性の概念」（『文字文化と書写書道教育』）など

⑤ 手書き文字の価値・機能に関する研究～文字におけるパラ言語的要素など～

手書きすることの意義や価値、手書きすることによって生じる、文字言語におけるパラ言語的要素、またその表現と表出の関係などについて研究しています。

【例】「書字における機能とその意識化による国語科書写指導」（書写書道教育研究、第23号）

「手書き文書におけるパラランゲージ的要素による伝達に関する基礎的研究」（ 〃 24号）

「手書き文字におけるパラ言語的機能としての規範性と個性等について」（ 〃 30号）

「手書き文字に対する読みやすさ等の感覚とその世代差に関する研究」（ 〃 14号）

「小学生を対象とした毛筆書字における気持ちの表出と受容に関する研究」（ 〃 26号）など

3. 社会貢献活動概要

① 書写教育に関する研究会等の講師

小中学校の先生方を対象とした研究会等において、基礎的な考え方から各論的な内容についての講習・講演を引き受けています。

【例】「書写の基礎的な考え方～何を目標として何をどのように学ぶべきか～」

「書写の学習内容の考え方～わかりやすさと汎用性～」

「字体と字形問題をどう考えるか～漢字の○×問題と書写指導の関係～」

「速く書いても読みやすさを損ないために～中学校行書指導の考え方～」

「なぜ勉強するの？書写～筆順を勉強すると良い理由を例に～」など

② 書写教育に関する教材開発等

書写教育に関する通常の教材、デジタル教材の製作協力および監修、CAIシステム構築に関する共同研究などに対応しています。

【例】「漢字CAIのための漢字情報管理システムの開発」（情報処理学会論文誌40巻3号）など

③ 書字に関する用具・機器等の開発のための助言

書写のための学習用筆記具、子どもたちが通常の学習活動に用いる筆記具、成人を含む一般用筆記具等の開発の助言・共同研究に対応しています。

【例】「毛筆の機能とマグネットボードを用いた書字学習用具の開発」（『書写書道教育研究』29号）

「書字における筆圧の影響と筆記具による改善の可能性」（『書写書道教育研究』33号）など

※参照・著者情報が十分ではなくお詫びいたします。適宜、検索していただければ幸いです。